

平成 28 年 2 月 5 日

報道機関各位

岩手町立川口中学校における復興教育との連携について

～総合政策学部伊藤英之教授及び学生の協力により「災害に強いまち」を考えます～

岩手町立川口中学校の復興教育の取り組みについて、本学総合政策学部 伊藤英之教授及び学生が連携・協力を行っているところですが、この度、下記のとおり、レゴブロックを用いた災害に強いまちを考えます。

本取り組みについてのご取材・報道について、よろしくお願ひします。

記

■授業について

総合政策学部伊藤英之教授及び学生の協力により以下のとおり実施します。

- (1) 日 時：2月12日（金）13：30-15：30
- (2) 場 所：岩手町立川口中学校（岩手郡岩手町大字川口第17地割24-13）
- (3) 内 容：中学2年生を対象に、レゴブロックを使用した災害に強いまちづくりワークショップなど

■岩手町立川口中学校の取り組みについて

岩手町立川口中学校では、校訓「覇気」を掲げ、文武両道を目指し教師・生徒とも日々努力をしている。平成25年度、復興教育推進校の指定を受け「いわての復興教育」プログラムに基づき、プログラムが示す「3つの教育的価値」と「具体の21項目」との関連を整理しながら復興教育を推進。「ひとづくり」の理念を同校の実態に応じて実現させることを、大きな目的としている。

同校では、復興教育をキャリア教育と関連させながら推進しており、学習を進める上での切り口を「夢や希望」、「地域とのつながり」、「地域づくり」の3項目で構成。具体的な活動としては、1年生を対象とした「災害を知る」学習、2年生を対象とした「地域を理解する」学習、3年生を対象とした「地域を守る」学習を計画している。

岩手県立大学とは平成25年から連携した取り組みを行っており、平成27年は1月に地域の立体地図作り、8月に三陸ジオパーク推進協議会も協力した津波被災地での現地学習、10月に避難時要援護者体験を行っている。

<本件の問い合わせ先>総合政策学部 教授 伊藤英之 電話 019-694-2722